

図書館における生涯学習の位置づけ

06L4231 杉崎 聡美

1. 生涯学習

「生涯学習」とは、自己の充実や生活の向上のため、自発的な意志に基づいて生涯にわたって学び続けることである。生涯学習の起源は、1965年ユネスコの成人教育推進委員会事務局長を務めていたポールラングラン(Paul Lengrend)による「生涯教育(life-long education)」の考え方がきっかけで世界的に反響したといわれている。わが国では、この考え方を受けて「生涯学習」「社会教育」などという言葉が一般的であるが、国によっては「成人教育」「継続教育」などと呼ばれるように、必ずしも「生涯教育」という言葉が共通語になってはいない。

2. 世界の生涯学習の現状

2002年に発表されたOECD(経済協力開発機構)の調査によれば、25歳から64歳までの生産人口のうち「継続教育」に参加している人の割合は、第1位がデンマークの47%、第2位がスウェーデンの45%、第4位がフィンランドの44%と、第3位のアメリカを除いて北欧諸国が上位を占めているという結果がある。わが国では1990年に「生涯学習振興法」が成立し、国・地方自治体の体制が整備されてきた。

3. 図書館における生涯学習の取り組み調査結果

愛知県の公立図書館92館のうちホームページを公開している図書館50館について取り組みを調査した。多くの自治体では生涯学習担当部署は教育委員会の生涯学習課であり、図書館も教育委員会の管轄なので、協力体制がおこなわれていると考えられる。開館時間については18:00までが多いが、21:00まで開いているところ(岡崎市の図書館交流プラザ)もある。

催し物については、図書館の規模によって、イベントや講演会の大きさや頻度に違いが見られる。なかでも、規模の小さい図書館での催し物は、講義形式に近い講演会を会議室で(7館、14%)、人形劇やビデオ鑑賞は視聴覚室などで行っている(9館、18%)ことがわかった。そして、規模の大きい図書館では、ホールや集会室を活用してコンサートや講演会を実施している。

項目		館数	割合 (%)
施設構成	単一施設	35	70
	複合施設	15	30
図書館管轄	教育委員会（教育部）	40	80
	その他	6	12
	独立	4	8
生涯学習担当部署	教育委員会生涯学習課等	46	92
	教育委員会のその他の名称の課	8	16
	教育委員会以外	4	8
開館時間	9:00-9:30 まで	34	68
	9:30 より後 10:00 まで	16	32
	10:00 より後	0	0
閉館時間（夏季を標準とする）	17:00-18:00 まで	23	46
	18:00 より後 19:00 まで	19	38
	19:00 より後 20:00 まで	5	10
	20:00 より後	3	6
	季節によって閉館時間が異なる	5	10
年報	公開	18	36
地域資料デジタルアーカイブ	作成	4	8

表 4-2. 愛知県内公立図書館の生涯学習活動

	活動	実施館数	割合 (%)
1	おはなし会および読み聞かせ	50	100
2	ブックスタート	29	58
3	障害者サービス	27	54
4	司書体験	28	56
5	ビジネス支援	8	16
6	ヤング・アダルト(YA)サービス	21	42
7	レファレンスサービスおよび読書相談	46	92
8	ボランティア養成	37	74
9	催し物（講演会、コンサート、人形劇、ビデオ鑑賞など）	28	56
10	展示会	39	78
11	文学講座	21	42
12	一般教養活動	14	28
13	テーマ本(特集本)	27	54
14	共催イベント	28	56

4. 考察

生涯学習において図書館の果たす役割は、情報の提供という基本的機能に加えて、司書によるサポート、イベントによる学習意欲の向上など、重要なものがある。